

第3回拠点形成研究 A「代謝を基盤とした癌のグローバル先端研究教育拠点」発表会

2016年3月10日 於：山崎記念会館（1F：口演会場、2F：ポスター会場）

10:30- ポスター発表（2F）

12:00- 開会挨拶（消化器外科学 馬場 秀夫）

12:05-13:05 ランチョンセミナー 座長：消化器外科学 馬場 秀夫
Mount Sinai Hospital, The Tisch Cancer Institute Yujin Hoshida 先生

13:05-13:15 休憩

13:15-14:00 座長：病態生化学 山縣 和也先生

発生医学研究所/細胞医学 日野信次朗先生

「ヒストン脱メチル化酵素 LSD1/LSD2 による代謝リプログラミング機構」

分子遺伝学 門松 毅先生

「転座型腎細胞がんの発症・進展の分子機構解明」

細胞病理学 菰原義弘先生

「がんにおけるマクロファージの役割と重要性」

14:00-14:45 座長：発生医学研究所/細胞医学 中尾 光善先生

免疫識別学 塚本博丈先生

「老齢・肥満個体における CD4+T 細胞性抗腫瘍免疫応答の低下」

病態生化学 山縣和也先生

「SIRT7 による代謝・癌制御機構」

放射線診断学 浪本智弘先生

「子宮体部内腔病変における拡散強調画像の有用性」

14:45-15:00 休憩

15:00-15:45 座長：乳腺・内分泌外科学 岩瀬 弘敬先生

小児外科学・移植外科学 吉井大貴先生

「肝臓でみられる細胆管反応及び癌に関わる遺伝子、シグナル経路についての解析」

産科婦人科学 齋藤文誉先生

「子宮内膜癌発癌と代謝・内分泌学的因子」

泌尿器病態学 河野吉昭先生

「泌尿器癌における代謝関連シグナルの意義」

15:45-16:30 座長：呼吸器外科学 鈴木 実先生

乳腺・内分泌外科学 岩瀬 弘敬先生

「乳癌内分泌療法に関連した ESR1 およびその近傍遺伝子の変化」

呼吸器外科学 池田公英先生

「肺癌とエストロゲン代謝」

消化器外科学 馬場秀夫

「消化器癌の発育進展機序の解明」

16:30-16:35 閉会挨拶（免疫識別学 西村 泰治先生）

16:40-18:00 意見交換会・懇親会（2F:ポスター会場）

ポスター発表 タイトル

於：山崎記念会館（2F：ポスター会場）

1. 竹下 卓志先生（乳腺・内分泌外科学）
「Clinical significance of ESR1 mutations using droplet digital polymerase chain reaction assay in 325 breast cancer samples.」
2. 富口 麻衣先生（乳腺・内分泌外科学）
「FGFR1 protein expression is associated with prognosis in primary breast cancer: a comprehensive analysis of gene copy number, mRNA and protein expression」
3. 元島 崇信先生（泌尿器病態学）
「腎細胞癌患者における末梢血抑制性ミエロイド細胞の解析」
4. 宮里 祐子先生（細胞病理学）
「乳癌における CD204 陽性 TAM の重要性」
5. 塩田 拓也先生（細胞病理学）
「乳癌のがん免疫誘導におけるリンパ節マクロファージの重要性」
6. 入来 豊久先生（細胞病理学）
「肺小細胞癌における TAM の重要性」
7. 匂坂 正孝先生（免疫識別学分野/小児外科・移植外科）
「胃癌肝転移、肝細胞癌ゼノグラフトモデルに対する iPS 細胞由来 IFN-beta 発現マクロファージによる治療」
8. 今村 悠哉先生（免疫識別学分野）
「癌抗原を発現させた CD14-ML を用いた癌ワクチン療法」
9. 坂元 顕久先生（発生医学研究所/細胞医学）
「癌微小環境に応じた癌特異的代謝におけるリジン脱メチル化酵素 LSD1 の役割」
10. 東孝暁先生（消化器外科学）
「肝細胞癌における TAZ の制御機構」
11. 甲斐田剛圭先生（消化器外科学）
「C5a 受容体を介した胃癌の浸潤能獲得のメカニズム：Gastric cancer obtains invasive ability via C5a receptor」
12. 大内蘭子先生（消化器外科学）
「大腸癌での adenoma-carcinoma sequence における EZH2 発現の変化」
13. 有馬浩太先生（消化器外科）
「がん幹細胞マーカーが膀胱癌進展を引き起こすメカニズムの解明」
14. 中村健一先生（消化器外科）
「食道癌における UHRF1 と DNA メチル化との関連について」
15. 山村謙介先生（消化器外科）
「食道癌における Fusobacterium nucleatum と予後との関連」
16. 北野雄希先生（消化器外科）
「The clinical significance of Nrf2 overexpression in esophageal cancer」